

# あきた

A-TURN INFORMATION MAGAZINE

# 日

2013

秋

vol.62

# 和

Aターンインタビュー

株式会社 宮盛 渋谷卓広さん

「知らないことがたくさんあることに  
ワクワクした」から、  
私はここでの就職を強く希望したんです。

秋田に来たら  
心にゆとりが  
できました。

Aターン者採用企業のご紹介  
株式会社 宮盛

A-TURN NAVI  
子どもは秋田で育てたい!  
子育て支援のご紹介

秋田がんばるプロジェクト  
「秋田の宿で味わう、秋田の地酒」  
西明寺栗

# AKIITARI BIYORI

秋田にこんなに素晴らしい  
技術を持った人たちがいる。  
「この会社に入りたい」  
心からそう思いました。

趣味は食べ歩き。  
オススメのお店は  
ヒミツです(笑)

【Aターンインタビュー】  
株式会社 宮盛  
渋谷卓広さん

# A-turn interview

国内トップクラスのシェアを誇る構造用集成材メーカーで  
カルチャーショックを受けたという渋谷さん。  
彼がここで働きたいと思った理由とは？

What's Aターン  
とは？  
A-turn

「親の近くで暮らしたい」、「生まれ育った地元に帰りたい」というUターン希望の方も、「旅行して秋田が好きになった」、「秋田出身の妻に勧められて」というIターン希望の方もひっくるめ、秋田へターンすることを「Aターン」と総称しています。



## 以前は仕事が生活そのものでした。 今は生活の一部に仕事がある。 自分のペースで生活できる。

### 大手紡績会社での研究者としての生活 努力だけではカバーできない仕事

秋田県五城目町にある株式会社宮盛は、木造住宅用構造用集成材と和室用ラミネート天井板を製造販売している企業です。こちらの製品企画部で品質管理責任者として勤務している渋谷卓広さんは、秋田市出身の31歳。秋田工業高等専門学校を卒業後、秋田を離れ、東京に本社を置く繊維を主力とする大手紡績会社に就職しました。

#### —以前のお仕事はどういったものでしたか？

紡績会社の研究者でした。会社の指示に従い、さまざまな研究を行っていました。基本的には個人で取り組むことが多かったですね。内容によっていつまでにできるのかは自分で設定し、その納期を目指して研究をする。研究って発想力やセンスが必要なんです。頑張れば成果がでるものでもなく、答えがないことを探す作業。当時は朝7時30分くらいから夜11時まで働いていました。まさに「仕事=生活」というような感じでした。

### 木造住宅用構造用集成材の柱では 国内トップクラスのシェアを誇るメーカー

#### —秋田に戻るきっかけは？

家族の病気がきっかけで秋田に戻ることになりAターン登録をしました。平成22年にこちらの会社からリクエストがあり、面接を受けたんです。大手企業での経験がありましたし、地方の企業であれば十分対応できるという気持ちでいたんですが、面接の際にその自信がすっかり崩れてしまいました。製品開発に必要な専門知識について尋ねられたのですが、自分の持っている知識では太刀打ちできなかった。だからこそ、このままでは終われないと思いました。また、面接の際に工場の見学をしたのですが、これだけ大きな敷地を持ち、大きな工場がたくさんあるにも関わらず、スタッフが少ない。効率よく製造工程が組まれているんだなと思いました。それに先輩方の技術や経験が素晴らしかった。『秋田にもすごい人はたくさんいる。まだまだ知らないことがたくさんある』ってワクワクしたんです。ぜひここで働きたいと思い、二次面接では入社を強く希望しました。

### 品質管理に関する全てが自分の担当。 製品開発にも携わるやりがいのある日々

—採用されてからはいかがでしたか？ また、現在の業務内容を教えてください。

この分野の知識がありませんでしたから仕事に必要な知識を懸命に勉強しました。現在は品質管理を担当しています。商品が強度を保っているかということはもちろん、商品の仕様書を作ったり、お客様からのクレーム対応をしたり。どんな状況でどういったことが起き、原因はどこにあるのか。データを取り、検証し、報告をします。

また、製品開発にも携わり、純国産ハイブリッド集成材「パワービーム」という製品の開発を行いました。性能が良い接着剤が開発されたという話をメーカーの方から聞き、それを使用したものです。従来、接着が難しいとされる唐松を使用し、強度を保ちつつも杉と併せて使うことで軽さを生み出すことができ、さらには見た目も美しく仕上げることができました。製品として販売するためにはJAS規格を取る必要があり、その部分も大変でした。集成材製造に必要な木材接着士などの資格も取得しました。以前の職場とは違い、個人ではなくチームと一緒に開発していくので、刺激になります。これからも先輩方の力を借りながら、品質の良い製品を提供していきたいですね。

#### —以前と比べ、秋田での生活はいかがですか？

以前はすべて徒歩で済んだし、何でも近くにあって便利でしたが、人が多くてごちゃごちゃしていたんです。今は車がないと生活できないし、何でも近くにあるわけじゃないけれど、自分のペースで生活できているなどと思います。心にゆとりができました。現在は定時は8時から17時で、残業することもほとんどありません。今は生活の一部に仕事がある感じですね。

#### —最後に、Aターンを検討している方へのメッセージをお願いします。

少しでも秋田に移住したい、帰ろうかなと思っているんだったら、来た方がいい！（笑）Aターン登録制度も大いに活用して、秋田での生活を始めて欲しいと思います。



## Aターン者採用企業のご紹介

うるおいある住宅づくりに貢献する、誠実と信頼のブランド「株式会社 宮盛」は、各種材木を製造する住宅資材メーカーとして歩んできました。現在は構造用集成管柱や梁などの集成材関連製品を主力に、構造用集成材の柱では国内トップシェアを誇る木材業界のリーディングカンパニーへと躍進しています。



株式会社宮盛は、昭和37年に設立された有限会社「宮盛製材所」を前身とした住宅資材メーカーです。当初は製材と貼桁天井板の製造を手がけていましたが、原材料となる天然杉の原料減を予測し、主力製品をラミネート天井板へと転換、それにともない昭和44年に会社組織も「宮盛木材化工株式会社」に改組しました。それ以降、ラミ天の宮盛として業績を順調に拡大しつつ平成7年に「株式会社宮盛」に社名変更をしております。

現在では、需要拡大が進んだ集成材の量産体制を確立し、構造用集成管柱を主力に、柱の宮盛として信頼と実績を重ねております。高耐震・高気密・高断熱住宅に欠かせない構造材として、品質・性能の安定した製品が必要とされる現代。当社製品は、信頼性を高めるためにJAS（日本農林規格）で定められた基準を遵守し、含水率、強度寸法精度等について毎日の社内検査を通じて厳密に管理しています。

### 商品の一例



和室用天井板

構造用集成材  
(パワービーム)



### 木よりも強い木。それが構造用集成材です。

パワービームとは 国産の杉と唐松を使用しており、強く、軽く、そして美しさも兼ね備えている優れた集成材です。寸法精度が高く、狂いが少ないことが特徴です。鉄やコンクリートより強く、建物の軽量化を可能にします。

### 採用担当者に聞く

#### 求める人材とは？

我が社では、幅広くさまざまな分野での人材を求めています。製造に関わる知識、化学の知識をお持ちの方はもちろんのこと、エンドユーザーが欲しいと思うものを作り続けていくためには、マーケティング分析がしっかりとできる専門性を持った方も必要です。そして、どんな分野の方にも共通して言えることは、積極的に新しいことにチャレンジする気持ちを持っていることではないでしょうか。

県外からAターンされた方には、即戦力として力を発揮していただけることを期待していますし、ゆくゆくは会社の核になってもらいたいと思っています。他の企業で多くの苦勞を重ね、壁にぶつかった経験がある人は、職場にも良い影響を与えてくれるものです。また、仕事への取り組み方、考え方など全てにおいて、新しい風を吹かせてくれます。

専門性を持ち、自ら能動的に動ける。そんな積極性を持った方と一緒に働きたいと願っています。

### DATA

## 株式会社 宮盛

〒018-1734

秋田県南秋田郡五城目町大川大川字沖面195

TEL : 018-875-2151 FAX : 018-875-5458

www.miyamori.co.jp [農林水産大臣JAS認定工場](#)



#### <事業所>

パワーウッド第1工場、パワーウッド第2工場、パワービーム第1工場、パワービーム第2工場、天井工場

#### <主要取引先>五十音順

伊藤忠建材(株)、稲畑産業(株)、兼松日産農林(株)、ジャパン建材、住友林業(株)、双日建材(株)、トーヨーマテリア(株)、ナイス(株)、物林(株)、丸紅建材(株)、三井住商建材(株)、三菱商事建材(株)



株式会社 宮盛 伊藤信悦専務

# ((( 子どもは秋田で育てたい！子育て支援のご紹介 )))

秋田県では、市町村と連携しながら、全国トップクラスの子育て支援制度を実施しています。医療費助成（0歳は全額、1歳～小学生は半額助成）や保育料助成（第1子から保育料の1/2または1/4を助成）、不妊治療助成などさまざまな支援制度で、子育て世代の皆さんを県全体で支えています。市町村によって実施内容が異なりますので、詳細については、各市町村窓口にお問い合わせください。

県中央部編

秋田市	保育所や幼稚園の保育料を助成	所得制限基準額を超えない方を対象に、保育料の1/2又は1/4を助成します。	
	在宅で子育てをしているご家庭に、子育てサポートクーポンを贈呈	子育てサポートクーポン(16枚綴り)は5種類のプランから自由に組み合わせてご利用できます。また、大森山動物園年間パスポート引換券も付いています。 ○わんぱくキッズのおでかけプラン(親子一緒に貸し切りバスで日帰り遠足) ○在宅ママ・パパのゆっくりプラン(一時保育サービス) ○なかよし親子でおでかけプラン(大森山動物園、クアドーム ザ・ブーンの入場料) ○はいポーズ！プラン(写真館等の撮影料) ○親子の絵本プラン(市立図書館おすすめ絵本の中から、好きな本と引き換え)	子ども未来部 子ども育成課 018-866-2094
	乳幼児・小学生の医療費を助成	○0歳と1歳：全員に入院・通院医療費の自己負担分を助成 ○2歳から6歳まで：全員に入院医療費の自己負担分を助成、通院は所得制限あり ○小学生：入院・通院ともに所得制限あり ※子どもの年齢や父母の課税状況により、助成内容が異なります。	子ども総務課 018-866-8846
男鹿市	出産祝い金を支給	第3子以降の赤ちゃんを出産された方に10万円を支給します。	生活環境課 保健センター 0185-24-3400
	医療費を助成	0歳児～小学生まで申請により「福祉医療費受給者証」を交付し、保険診療の自己負担分を助成します(入院は全員が該当。小学生の外来は所得制限あり)。	生活環境課 0185-24-9112
	子育て応援米を支給	18歳未満の子どもを持つ世帯を対象に、減農薬の男鹿産新米あきたこまち(1等米)を支給します。	
	育児用品の購入費を補助	1歳未満の乳幼児一人につき2品まで、1品につき購入金額の2分の1を補助します。(上限1万円) ※男鹿市内で購入したもので、新品であること。	子育て支援課 0185-24-9115
	保育園や幼稚園の保育料を助成	県で行っている保育料助成に加え、市独自の支援策として第3子以降の保育料全額を助成(所得制限なし)します。	
住宅リフォームへの一部助成	申請する年度の4月1日現在で18歳未満の子どもがいる子育て世帯の方で、市内業者を活用して住宅をリフォームされる方に対し、工事費の30%・最大30万円を助成します。	建設課 0185-24-9144	
潟上市	妊娠期・出産時に絵本を贈呈	母子健康手帳交付時、出生届提出時に絵本を贈呈します。	生涯学習課 018-877-7805
	インフルエンザ予防接種費用を助成	妊婦・生後6カ月から18歳までの方に対し、インフルエンザ予防接種費用の一部として1回につき千円を助成します。	健康推進課 018-855-5115
	「風しん」予防接種費用を全額助成	妊娠を予定または希望する女性とその配偶者、妊娠している女性の配偶者・同居家族に対し、予防接種の費用を全額助成します。※既に予防接種を2回接種している方は対象外	
五城目町	妊婦さんにタクシー券を贈呈	3万円分のタクシー券を母子健康手帳交付時に差し上げます。妊婦さんの家族の方の利用も可。	
	出産祝い金を支給	第1子に1万円、第2子に2万円、第3子に5万円、多胎出産の場合は、1子につき10万円を支給します。	健康福祉課 018-852-5180
	チャイルドシート購入費を補助	チャイルドシートを購入された方に、購入費用の2分の1(限度額1万2千円)を補助します。	
	インフルエンザ予防接種費用を助成	中学生以下の方に対し、インフルエンザ予防接種費用の一部として1回につき千円を助成します。	
八郎潟町	結婚祝金を支給	1組につき10万円を支給します。	町民課 018-875-5805
井川町	子どもを対象とする福祉医療費の助成	町内に在住するすべての乳幼児及び小中学生にかかる医療費を全額助成し、医療機関等の窓口で支払う自己負担額(医療保険適用分)を無料とします。	町民課 018-874-4417
大湯村	医療費を助成	乳幼児及び小学生に対し、医療機関にかかるときの自己負担額分を全額助成します。	住民生活課 0185-45-2114
	チャイルドシート購入費を補助	1歳未満の乳児のためにチャイルドシートを購入した方に、購入費用の1/2(限度額2万円)を補助します。	
	一時保育利用券を配布	在宅子育て児(1歳以上)のいる世帯を対象に、一時保育利用券を1カ月あたり半日券4枚を配布します。	教育委員会 0185-45-3240
由利本荘市	子育て支援金を支給	第2子の赤ちゃんを出産された方に10万円、第3子以降の赤ちゃんを出産された方に20万円を支給します。	子育て支援課 0184-24-6319
にかほ市	絵本を贈呈	4カ月健診対象者へ絵本2冊(「いないいないばあ」、「じゃあじゃあびりびり」)を贈呈します。	図書館こびあ 0184-32-4100
	保育所の保育料を助成	所得制限を超えない方を対象に、保育料の1/2を助成します。	
	出産祝い金を支給	第3子に10万円、第4子に20万円を支給します。	子育て長寿支援課 0184-32-3040
	チャイルドシート購入費補助	チャイルドシートを購入された方に、購入費用の1/2(限度額1万5千円)を補助します。	

※県北部・県南部編は、次号以降でご紹介します。※記載された助成事業は取りまとめ時点のものであり、助成内容が変更となる場合もあります。

# 秋田がんばるプロジェクト

## [秋田の宿で味わう、秋田の地酒]

10月から始まる秋田デスティネーションキャンペーンに向け、秋田の宝である“日本酒”を、もっと活かしたサービスをしたい。「地酒飲み比べ3種セット」を提供している「旅館 青荷山荘」支配人・堀田雅人さんにお話を伺った。

**秋田に泊まって、秋田の酒を味わう。  
地域が一体となったPRをしたい!**

秋田県は、古くから水と米が豊かだったことから酒造りが盛んであり、現在も40歳近い酒蔵がある。秋田の至宝である地酒を観光の目玉にしていきたい。そんな思いを抱き、新たなサービスを打ち出した一人の男性がいる。秋田県仙北市の水沢温泉郷「旅館 青荷山荘」の支配人、堀田雅人さんだ。

水沢温泉郷は日本一深い湖・田沢湖を望む秋田駒ヶ岳の中腹にある。素晴らしい温泉に田沢湖、駒ヶ岳など豊富な観光資源があるにもかかわらず、東日本大震災以降、観光客が激減してしまった。そこで思いついたのが、地元の酒を宿でふるまうという、シンプルだが、これまで見過ごされていた部分だった。「今は乾杯にはビールが当たり前だし、焼酎の人气が高い。だからこそ我々がもっと勉強し、秋田の酒は旨いんだという自信を持って地酒を提供していかなくては。そこで、日本酒をからめたサービスを秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合（県組合）に提案しました。まずは仙北支部でやってみようということになり、秋田県酒造組合仙北支部長である鈴木酒造店の鈴木社長に相談したんです。

鈴木酒造店は主要銘柄を「秀よし」とする歴史ある酒蔵。堀田さんを初めとする仙北支

部の9つの施設が蔵を見学し、酒の試飲と酒に合う食事の試食を行う勉強会に参加した。

「それを経て、具体的な内容の検討を始めました。“利き酒”ではなく“飲み比べ”というスタイルが良いだろうとか、面白さと運営のしやすさを考慮し、価格とラインナップは各施設に委ねることなどを決めていきました」。

こうして2012年7月より、仙北支部で「秋田の地酒『秀よし』飲み比べ3種セット」のサービスを始めた。現在も「旅館 青荷山荘」では純米大吟醸、純米酒、搾りたて生酒の3種類を提供している。日本酒は米と水で作られているが、酒造りにはその土地の風土や文化が深く関係している。だからこそ、醸した地で味わうことこそ、贅沢なことなのだ。「この商品を提供する際、スタッフがお酒の説明をすることで、お客様との会話が自然と増えました。これをきっかけに気軽に声をかけていただけるようになり、コミュニケーションが取りやすくなったんですね。

これまでと同じ地域にある施設同士で料金の叩き合いをし、価格を下げるために質を下げるといった競争をしてきた。でもそれではダメですね。今はみんなが協力し、おもてなしの質を上げ、地域が連携して一体となって魅力ある観光地作りをする必要がある。同業者同士だけでなく、地域にある酒蔵や農家、

酪農、建築業の方々と手を取っていかなくては。そんな方々の商品を、私たちがしっかりと勉強し、代表となってお客様に提供していかなくてはならないんです。とはいえ、あまり肩肘張ってはい誰にも来てもらえません(笑)。みんなが楽しみながら、笑顔で秋田らしさ、地域の個性を前面に出し、魅力を伝えていきたいですね。

**最終的には「秋田といえば地酒!」と  
全国に認知されるまで止めたくない(笑)**

昨年秋から仙北支部で始まったこのサービスを、今後秋田県内の他の支部でも広めていく。「秋田の魅力はたくさんありますが、まずはひとつのものをきっちり取り組むことが大切だと思います。私は『地酒といえば秋田!』と全国の人に認知していただけるまで、このサービスを続けたい。極端な話、秋田に泊まると地酒の飲み比べがあるのが当たり前、という認識が生まれるくらいにしたい」と笑う堀田さん。10月より始まる秋田デスティネーションキャンペーン（秋田DC）今後に繋がっていきたく考えている。「秋田DCがピークなのではなくて、終わってその翌年からもっと観光客が多くなるように。DCをきっかけに秋田を好きになってまた来てもらえるようにしたいと思っています」。

### 観光地としての魅力を 自分たちから発信したい!

秋田県旅館ホテル  
生活衛生同業組合 仙北支部長  
「旅館 青荷山荘」支配人

**堀田雅人さん**

HOTTA MASATO



それぞれの宿で特色を持った3種類の地酒を提供しているので、値段も統一ではない。だいたい1,000円前後で提供

#### ところで「秋田デスティネーションキャンペーン」ってナニ?

秋田デスティネーションキャンペーンとは、自治体と地元の関係者及びJR6社が一体となって展開する大型観光キャンペーン。今まで大切に守り、育ててきた豊かな「食」「温泉」「自然」そして「伝統文化」など、秋田の多彩な魅力を発信するべく、おもてなしのレベルアップを目指して県民一丸となって取り組んでいます。

秋田県観光キャンペーンサイト開設 <http://www.akitacp.com/>



旅館 青荷山荘 〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖水沢温泉郷 TEL: 0187-46-2256

秋田・再発見



DISCOVER  
AKITA

【ディスカバー・アキタ】

アキタになんて何にもないでしょー、なんていわせない！  
都会に負けない、アキタならではのカルチャーをご紹介します。

【今回の再発見】

仙北市・西明寺栗

久之助栗園

秋田県仙北市西木町小山田高野6番地  
TEL&FAX：0187-47-2407  
栗拾い：9月上旬から10月下旬まで

## 日本一大きい栗は、秋田県にある！ 西明寺栗を知っているか？

秋と言えば、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。秋の秋田は、米をはじめ、果物や野菜などたくさんのおいしいものが出回る、まさに実りの季節だ。今回は、その中でも意外と知られていない、日本一大きな栗「西明寺栗」についてご紹介しよう。

西明寺栗は大きいものになると、幅5.7センチ、高さ4.7センチ、重さは60g以上もあるとのこと。分かりやすく例えると、赤ちゃんの握りこぶしくらいの大きさで、ゴルフボールよりも二周りくらい大きい。

西明寺栗の産地は、秋田県仙北市西木地区。かたくりの里としても知られるこの地域にある栗園、久之助栗園の門脇久吉さん、悦子さん夫婦を尋ねた。

なぜ、この地域で日本一大きな栗が採れるのか。「この辺りは、昔から雨量がとんでもなく多いんですよ。年間で2,000mmくらいの降水量がある。水分が多いと、栗はよく育つ。他の地域に西明寺栗を植えても、こうはならないんですよ。やはり、この土地が栗栽培に非常に向いているということなんでしょう」。

西明寺栗の起源については、300年ほど前に京都の丹波地方、岐阜の養老地方よりこの地域に種を持ち込んで栽培したと言われている。すると、大きな栗がなり、それを品種改良して「西明寺栗」が生まれたら

しい。「西明寺栗には1号、2号など数種類があり、早生、中生、晩生と採れる時期もさまざま。採ってすぐはわりと大味なんですけど、採った栗を冷蔵庫に2週間ほど保存してから食べると、食感もホクホクになるし、甘味も増します」と、久吉さん。

また、渋皮煮や甘露煮など加工にも向いている。最近では西明寺栗を使ったスイーツや料理が数多く作られている。10月末には仙北市内で「西明寺栗まつり」が開催され、さまざまなお店で西明寺栗を使った料理やスイーツが味わえる。

「うちでは西明寺栗以外の栗も栽培しているので、9月上旬から10月末までの間、いつきていただいても栗拾いができるんですよ」と悦子さんは微笑む。訪れた人は大人も子どもも、みんな夢中になって大きな栗拾い。大きな栗の木の下で、童心に返って日本一大きな栗を拾う。秋らしい秋を堪能できる、秋田の秋ってステキでしょ？



渋皮煮、甘露煮などももちろん、栗焼酎も作られている

## お願い

住所等の登録内容変更のほか、Aターンしたため登録を取り消したい場合には、「登録者連絡用はがき」か電話、メール（info@furusato-teiju.jp）でご連絡ください。特に住所が変わった場合には、情報がお手元に届かなくなる場合もありますので速やかにご連絡ください。また、この情報誌で取り上げてほしい事項やご質問・ご要望がございましたら、はがきにご記入ください。  
<個人情報保護シールをご利用下さい。>

## 担当者のつぶやき…。

◆Aターンインタビューにご協力くださった(株)宮盛の皆さん、お忙しい中ありがとうございました！ 社内に入ると木のいい香り！木の香りには、人間の自律神経を安定させ、快適で効果的な睡眠をもたらす作用があり、木造の建物の中にいるだけで森林浴効果が得られるそう。木にはすごいエネルギーがあるんですね。東京では仕事仲間との付き合いが多かったそうですが、今は地元の友達と美味しいお酒を飲みに行くのが楽しみという渋谷さん。仕事に余裕ができて、旅行も楽しんでいるとか。インタビューで『以前は生活＝仕事だったが、今は生活の一部に仕事がある』と話されているように、理想の秋田ライフを実現されているように感じました。

皆さんの仕事と生活のバランスはいかがですか？

◆全国学力テストの結果、小学校は秋田県が6年連続全国1位となりました！ 何がすごいかというと、塾に通っている子どもの割合が全国最下位というところ！ そういえば、秋田では他県に比べて早く寝て、早く起きて、朝ごはんを食べる子どもが多いようです。「子どもの学力は家庭が作る」ということでしょうか。今回は子育て支援制度について取り上げましたが、たくさんありますねえ…。次号では、今掲載できなかった県北部をご紹介します。お楽しみに！

(公財)秋田県ふるさと定住機構 佐川睦美

## 登録者用連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

### ◆住所変更連絡欄(変更後の住所等を記入)

〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

### ◆封筒の種類(どちらかに✓印)

定住機構の名前入り封筒  白封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたらお気軽にお寄せください。

氏名 \_\_\_\_\_ 登録番号 \_\_\_\_\_

生年月日 昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

登録住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

# ～ 大館さきてたんせ ～

1, 大館市移住体験モニターツアーに参加しませんか?  
(東京発着!! 現地からの参加もOK!!)

15名様無料  
ご招待!

2, 短期滞在体験コテージ

【開催日】平成25年11月29日(金)～12月2日(月)  
3泊4日(うち車中2泊)

締切	平成25年10月5日(土) 当日消印有効
募集対象	移住を検討中で、大館市に興味がある20歳以上の方。同伴1名まで
参加費	<b>無料</b> (体験モニターに含まれるもの) ○池袋～大館往復の高速夜行バス乗車券 ○農家民宿1泊分の宿泊代、体験費用(そば作り体験、農家体験、さきたんぼ作り等) ○2日目大館到着後の朝食・昼食・夕食 ○3日目の朝食・昼食 ※3日目の夕食は、フリータイムのため、別途夕食のみオプションの申込が必要
応募方法	ハガキ・メール・FAXで、タイトル「移住体験モニターツアー応募」、本文に氏名・年齢・性別・住所・電話番号・職業・同伴者(氏名・年齢・間柄)をご記入の上、大館市観光課までお送りください。 ※当選者の方にのみ連絡いたします。当選された方には、空き家バンク利用希望登録をしていただきます。
お申し込み お問い合わせ先	大館市観光課 〒017-0031 秋田県大館市上代野字稲荷台1-1 TEL 0186-43-7072 FAX: 0186-48-6668 Email: kouryu@city.odate.lg.jp



2泊～2週間まで  
1棟1泊500円



移住を検討中の方に、大館市を体感・体験していただくため、地元宿泊施設「比内ベニヤマコテージ」を通常1棟1泊10,500円のところ500円で利用していただくキャンペーンです。就職活動や住宅探しの拠点としてもご利用いただけます。

開催期間

平成25年9月1日～11月30日

利用方法

ご利用希望日の3週間前までに、大館市観光課(TEL0186-43-7072)までお電話にてお問い合わせください。

郵便はがき

010-1413

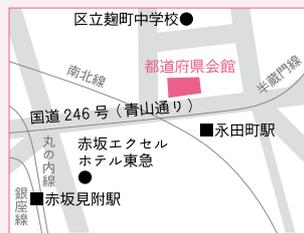
50円切手をお貼ください。

公益財団法人  
秋田県ふるさと定住機構

行

秋田市御所野地蔵田三のの一  
秋田テルサ3階

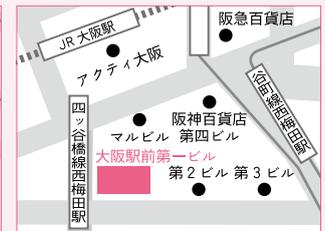
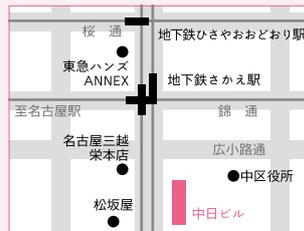
## 【Aターンプラザ秋田のご案内】



●平日はこちら  
相談日 月曜日～金曜日(年末年始は除く)  
相談時間 9:00～17:45  
場所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7F(秋田県東京事務所内)  
アクセス 東京メトロ 半蔵門線/南北線/有楽町線(永田町)下車 出口5  
★地下道にて都道府県会館B1に、直接入れます。  
連絡先 ☎0120-122-255 FAX: 03-5212-9116 email: a-plaza@coral.broba.cc



●土曜日はこちら  
相談日 土曜日(年末年始は除く)  
相談時間 12:00～18:00  
場所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館6F(ふるさと暮らし情報センター・東京内)  
アクセス JR山手線・京浜東北線 有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側))下車 徒歩1分  
連絡先 TEL: 03-6273-4401



●北東北三県 名古屋合同事務所  
〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目1-1中日ビル4F  
TEL: 052-252-2412

●北東北三県 大阪合同事務所  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9F  
TEL: 06-6341-7897

季刊 Aターンプラザあきた日和

Vol.62 発行日/平成25年9月26日

企画・発行/公益財団法人 秋田県ふるさと定住機構  
〒010-1413 秋田県秋田市御所野地蔵田3-1-1  
tel.018-826-1731 E-mail info@furusato-teiju.jp

